



「おかげ」に報いる奉仕を

行田さくらロータリークラブ

第42代会長 藤倉 武

本年度は、我が行田さくらロータリークラブより、細井保雄ガバナーが誕生し、活躍される一年であります。この様な重要かつ多忙な年度の会長の役をいただいた事に対し、大きな責任を感じると共に精一杯務めさせて頂きたく、会員の皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度のテーマは、「おかげ」に報いる奉仕をといたしました。「おかげ」とは、人の力添えや神仏の助けなどによって受ける恩恵とあります。

私たちは、自分の力に関係なくこの世に生まれ、死んで行くのですが、この間に、自然や、他人と様々な関わりあいを持ちながら生きて行きます。自分独りでは生きられず、周囲の人々の世話になり、動植物、環境、自然等による恩恵を受け、様々な、目に見えない運命、偶然の重なりの中で生きて行きます。私達は、自分が生きている間にその「おかげ」を他の人々に返却していかなくてはならないと思います。それが、奉仕の原点であると考えております。

ロータリークラブ会員の義務として、例会に出席することとされております。

私達の行田さくらロータリークラブも会員数も増え50名となりました。本年も会員の皆様、家族の皆様が楽しく参加出来るイベントを実施してまいります。

例えば9月3日のゆかた例会、クリスマス例会、観桜例会、企業訪問例会、他有りますが、地元、近隣の観光資源の活用も考え、多くの会員、家族の皆様の出席を得て、出席率アップが望める例会にしようと考え企画してまいります。そのほかの例会も会員の皆様が楽しくなる例会を目指してまいります。

重ねて申し上げますが、細井ガバナー輩出クラブとして、会長としての一年

間貴重な経験をさせていただきます。川野幹事と共に、皆様のご指導を頂き、素晴らしい一年間を過ごす機会を与えてくださった行田さくらロータリークラブの全会員の皆様に心から、感謝申し上げますとともに、ご協力よろしくお願い申し上げます。

長期目標（創立以来の継続目標）

私たち行田さくらロータリークラブは、日本の花「さくら」の愛護、保存、育成等の事業に協力し、地域の「さくら」の植樹や桜名所の保存活動を推進し、「さくら」を通じた内外の親善文化事業を実施します。

年次目標

1. 会員、会員の家族の参加しやすい例会を企画しお互いの親睦をより深める
2. 国際ロータリー2570地区 細井保雄ガバナーへの全面的協力と支援
(地区大会の協力等)
3. さくらの愛護、保存、育成事業。(行田市総合運動公園のさくら植樹)
4. 熊谷特別支援学校へタブレットの贈呈を行う
5. 冠イベントの「行田さくらRC杯ミニバスケット大会」への支援を行う。
6. 会員増強（純増5名）
7. 青少年交換学生プログラムへの支援
8. 「さきたま古墳、めざせ世界遺産」運動の推進協力
9. みどりのぎょうだネットワークとの連携、共同事業
10. 満願寺の枝垂れ桜の保護活動